

令和3年度事業報告書

概要

定款に則り事業を行い、令和3年度を終了した。

今期は新型コロナウイルスの影響により、昨年度にも増して事業が不活発であったが、大過なく運営することが出来た。

また当社団の名誉会長であり、赤十字飛行隊隊長であった高橋淳氏が令和3年12月7日に急逝され、12月10日近親者のみにて葬儀が行われた。後日「淳さんを偲ぶ会」を開催する予定である。

さらに令和3年12月に静岡県土木事務所職員が来訪され、現在借用中の三保飛行場について「令和4年度占有許可は更新しない」と突然の通告を受けた。その後何度も交渉を行ったが、継続使用不可は覆らなかった。撤去条件については現在も交渉中である。

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 会員及び飛行訓練事業

①日本飛行クラブ 個人会員 34名 団体会員 1

②記念品送付 パイロット手帳

③飛行訓練 アイベックスアビエーション(株)に委託

同社はカインツアガミ(株)と社名を変更し、訓練基地を仙台に移したため、訓練委託契約は令和3年度末を以て終了した。今後は日本モーターグライダークラブ(株)に委託する。

2. 会報発行事業／「エアロンカ」隔月発行 計 6回

航空安全を啓蒙する記事を中心に、航空に関する最新情報や、赤十字飛行隊活動報告、飛行に関する体験記などを掲載し、5月、7月、9月、11月、1月、3月の年6回発行した。また総務省、経済産業省の経済コンセンサス活動調査のPR記事を掲載し、ホームページにもアップした。

3. 飛行場運営事業

①大利根飛行場

例年のとおり多くの団体及び自家用機等に飛行場を提供して、スポーツ航空の発展に寄与した。更に事故防止のため飛行場整備にも努め、騒音対策飛行ルートにも留意し運営した。台風等の被害は軽微で免れた。

*常駐機：飛行機8機 滑空機8機(令和4年3月31日現在)

- * メールによる飛行場情報配信
- * 防衛省用パラシュート開発に飛行場提供
- * 無人飛行機等のテスト飛行

②三保飛行場

今年度は、引き続き新型コロナの影響により飛行場に出向けなかったため、ほとんど飛行場の整備を行うことができなかったが、昨年同様無人機のテスト飛行などには支障が無いため、一年を通じて使用された。また立会のため出張した際、バス周りの整備等を行った。

・飛行場利用状況

- * 無人飛行機テスト（7回）
- * 静岡市消防局日本平消防署三保出張所：放水訓練等 延6回
- * 公共機関への飛行場提供
 - 緊急時及び救難防災訓練のため、着陸許可書を発行
 - 国土交通省中部地方整備局中央防災会議
 - 静岡県警察航空隊／通年
 - 海上保安庁／通年
 - 静岡県消防防災航空隊／通年
 - 静岡市消防防災航空隊／通年
 - 防衛省／令和3年10月7日
- * 静岡フィッシングボランティアへ飛行場を提供：3回（海岸清掃のため）

6月13日、9月12日、12月12日

4. 赤十字飛行隊運営事業

本年は昨年同様新型コロナウイルスの影響により、各地の総合防災訓練や当社団主催の巡回講習、公共団体主催の講習会、空域連絡会等々が相次いで中止となり、活動機会は大幅に減少した。

隊員 新入会：0名 退会者：5名 合計103名

①全国支隊長研修

日時：令和3年12月4日 13:00~17:00

場所：航空会館 901 会議室

出席者：26名

内容：(1) 日本赤十字社による銀色有功章授与 1名

(2) 安全講習会：航空事故分析について

講師：国土交通省空事故調査官・加藤 亮太

後日講習資料を全隊員に配賦。

- (3) 各支隊活動報告及び事務局連絡事項：出席支隊全員
- (4) その他懸案事項検討

②ボランティア飛行

内 容	機 数	時 間	出動人員
医療団搬送（鹿児島） （ 新型コロナワクチン接種のため）	2	6+20	2
合 計	2	6+20	2

③府中防災訓練において赤十字飛行隊の活動紹介

④熊本支隊：天草市と防災協定締結（災害時に於ける物資輸送）

5. 航空知識向上事業

実施：0回

6. その他

航空局、調布飛行場の安全セミナーにオンラインで参加

7. 「調布飛行場友の会」事務局

平成 26 年に発生した調布飛行場の事故のため、現在休止中

以上